



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月25日

上場会社名 ムラキ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7477 URL <http://www.muraki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 清美
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 加瀬 光二 TEL 042-357-5610
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	3,880	△2.8	19	—	26	—	1	—
29年3月期第2四半期	3,992	△0.8	△84	—	△78	—	△97	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 22百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △94百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	1.35	—
29年3月期第2四半期	△68.77	—

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	4,216	2,149	51.0
29年3月期	4,670	2,126	45.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 2,149百万円 29年3月期 2,126百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	1.00	—	—	1.00
30年3月期	—	0.50	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	5.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は50銭となり、1株当たり年間配当金は1円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,987	△2.8	62	—	74	—	22	—	15.49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — （社名）—、除外 — （社名）—

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	1,470,000株	29年3月期	1,470,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	50,182株	29年3月期	50,137株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	1,419,845株	29年3月期2Q	1,419,907株

（注）当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びその他の関連する事項につきましては、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（株式併合後の配当及び連結業績予想について）

当社は、平成29年6月22日開催の第59回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金 第2四半期末 50銭（注1） 期末 50銭（注2）

2. 平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 1円55銭

（注1）第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払われます。

（注2）株式併合考慮前に換算した配当額です。

（注3）平成30年3月期の年間配当金（株式併合考慮前）は1円00銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀による経済政策や継続的な金融政策を背景に企業の生産活動や設備投資に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外においては概ね回復基調となりましたが、米国の新政権による保護主義的な経済政策、英国のEU離脱問題の不透明感や中東・北朝鮮の地政学的リスクの高まり等への懸念から、依然として経済全般に不透明感が残る状況で推移しました。

当社グループの主力販売商品であるカーケア関連商品の販売先であるサービスステーション(略称:SS)業界においては、エコカーの普及や今夏より燃料価格が高騰したことも重なって消費者の節約志向から買い控えは続いており、依然として厳しい経営環境が続いております。石油元売においては最大手であるJXTGエネルギーが2020年までに現在あるエッソ、モービルなどの3つのブランドをENEOSに統一することが発表されました。石油元売各社は統一ブランドによる販売施策の統合を図り、エコカーの普及によるガソリン需要の減少に備える動きが活発化し、トータルカーライフサポートへの取り組みがより鮮明となってきています。当社グループにおきましても、今後ブランドが統一化されることで市場環境への新たな可能性が広がると共に販売効率の向上も期待できます。

SSにおけるカーメンテナンス収益に関しましては、繁忙期における天候不順による影響が大きく厳しい環境下で推移しました。結果的には当社の主力商品であるオイルフィルター及びバッテリー(機能部品)の販売不振が収益に影響を及ぼしました。付加価値洗車の関連品は順調な伸びを示しておりますが、天候不順の影響もあり一般洗車機洗剤は大きく落ち込みました。当社グループといたしましては、機能部品の底上げはもとよりトータルカーライフサポートを強く意識し、バランスの取れた販売戦略を推進することで収益の安定化を図ってまいります。

このような環境の下、今期からスタートした構造改革は当初の計画通り概ね順調に推移しております。戦略的営業体制は確立されており、収益向上を目的とした新販売戦略へとステージを移し実行してまいります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高 3,880百万円(前年同期比 2.8%減)となりました。

収益面におきましては、営業利益 19百万円(前年同期は営業損失 84百万円)、経常利益 26百万円(前年同期は経常損失 78百万円)、法人税等 23百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は 1百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失 97百万円)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

主力事業である「カーケア関連商品販売」事業については、上記の要因から、売上高は 3,717百万円(前年同期比 4.1%減)、セグメント利益は 23百万円(前年同期はセグメント損失 85百万円)となりました。「その他」の事業につきましては売上高は 203百万円(前年同期比 41.1%増)となりセグメント損失は 4百万円(前年同期はセグメント損失277千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は 2,991百万円となり、前連結会計年度末に比べ 452百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が 199百万円減少したことと受取手形及び売掛金が 59百万円減少したことと商品及び製品が 157百万円減少したこと等によるものです。固定資産は 1,225百万円となり、前連結会計年度末に比べ 810千円減少いたしました。これは主に建物及び構築物が 4百万円減少したこと等によるものです。

この結果、総資産は 4,216百万円となり、前連結会計年度末に比べ 453百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は 1,286百万円となり、前連結会計年度末に比べ 277百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が 220百万円減少したことと、1年内返済予定の長期借入金が 33百万円減少したこと等によるものです。固定負債は 781百万円となり、前連結会計年度末に比べ198百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が 201百万円減少したことと、繰延税金負債が 9百万円増加したこと等によるものです。

この結果、負債合計は 2,067百万円となり、前連結会計年度末に比べ 476百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は 2,149百万円となり、前連結会計年度末に比べ 22百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加によるものです。

この結果、自己資本比率は 51.0%(前連結会計年度末は 45.5%)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計期間年度末に比べ199百万円減少し、1,282百万円になりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は19百万円です。これは主要因として税金等調整前四半期純利益24百万円、たな卸資産の減少157百万円、仕入債務の減少211百万円、売上債権の減少51百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は16百万円です。これは主要因として差入保証金の回収による収入18百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は235百万円です。これは主要因として長期借入金の返済による支出234百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日付「平成29年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関して修正の必要が生じたなら、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,504,087	1,304,670
受取手形及び売掛金	1,057,720	997,921
商品及び製品	790,563	633,183
繰延税金資産	6,084	7,288
その他	86,289	49,144
貸倒引当金	△823	△665
流動資産合計	3,443,921	2,991,542
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	855,241	852,709
減価償却累計額	△777,259	△779,471
建物及び構築物（純額）	77,982	73,237
機械装置及び運搬具	17,220	17,220
減価償却累計額	△16,565	△16,658
機械装置及び運搬具（純額）	655	562
土地	518,941	518,941
リース資産	3,326	3,326
減価償却累計額	△2,384	△2,716
リース資産（純額）	942	609
その他	211,067	208,982
減価償却累計額	△180,870	△184,229
その他（純額）	30,197	24,752
有形固定資産合計	628,718	618,103
無形固定資産		
のれん	79,078	76,997
その他	30,422	31,643
無形固定資産合計	109,501	108,640
投資その他の資産		
投資有価証券	138,602	169,136
差入保証金	335,350	318,846
その他	29,018	25,593
貸倒引当金	△14,929	△14,868
投資その他の資産合計	488,042	498,707
固定資産合計	1,226,262	1,225,452
資産合計	4,670,184	4,216,994

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	943,937	723,162
1年内返済予定の長期借入金	466,203	432,861
リース債務	738	687
未払法人税等	21,474	32,254
賞与引当金	11,125	13,746
その他	119,882	83,381
流動負債合計	1,563,361	1,286,093
固定負債		
長期借入金	651,545	450,371
リース債務	315	—
役員退職慰労引当金	29,670	31,485
退職給付に係る負債	267,426	260,584
繰延税金負債	24,848	34,596
その他	6,889	4,849
固定負債合計	980,694	781,886
負債合計	2,544,055	2,067,979
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,700	1,910,700
資本剰余金	88,604	88,604
利益剰余金	164,619	166,538
自己株式	△47,486	△47,542
株主資本合計	2,116,437	2,118,300
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,690	30,714
その他の包括利益累計額合計	9,690	30,714
純資産合計	2,126,128	2,149,014
負債純資産合計	4,670,184	4,216,994

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	3,992,456	3,880,698
売上原価	2,987,768	2,978,558
売上総利益	1,004,688	902,140
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	523,286	418,083
賞与引当金繰入額	11,549	13,746
役員退職慰労引当金繰入額	7,882	4,215
その他	546,892	446,355
販売費及び一般管理費合計	1,089,610	882,400
営業利益又は営業損失(△)	△84,922	19,739
営業外収益		
受取利息	1,064	1,013
仕入割引	6,279	5,408
貸倒引当金戻入額	938	219
その他	4,124	4,170
営業外収益合計	12,405	10,811
営業外費用		
支払利息	4,458	3,486
手形売却損	578	293
その他	761	220
営業外費用合計	5,798	4,000
経常利益又は経常損失(△)	△78,314	26,550
特別損失		
固定資産除却損	0	1,579
特別損失合計	0	1,579
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△78,314	24,970
法人税、住民税及び事業税	19,865	23,736
法人税等調整額	△527	△685
法人税等合計	19,338	23,051
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△97,652	1,919
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△97,652	1,919

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△97,652	1,919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,573	21,023
その他の包括利益合計	3,573	21,023
四半期包括利益	△94,079	22,942
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△94,079	22,942
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△78,314	24,970
減価償却費	22,744	10,890
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△948	△219
のれん償却額	2,081	2,081
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,981	2,620
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	720	△6,841
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△8,983	1,815
受取利息及び受取配当金	△1,566	△1,562
支払利息	4,458	3,486
固定資産除却損	0	1,579
売上債権の増減額(△は増加)	113,662	51,856
たな卸資産の増減額(△は増加)	81,486	157,544
その他の流動資産の増減額(△は増加)	49,811	28,447
差入保証金の増減額(△は増加)	437	△21
仕入債務の増減額(△は減少)	△291,842	△211,629
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△19,943	△34,251
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△2,470	△2,040
未払消費税等の増減額(△は減少)	7,305	5,960
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	604	365
その他	400	—
小計	△118,376	35,051
利息及び配当金の受取額	943	948
利息の支払額	△4,386	△3,394
法人税等の支払額	△32,694	△13,322
営業活動によるキャッシュ・フロー	△154,513	19,283
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4	—
有形固定資産の取得による支出	△11,118	—
無形固定資産の取得による支出	△5,565	△3,861
投資有価証券の取得による支出	△306	△280
投資有価証券の売却による収入	61	—
貸付けによる支出	△300	△3,182
貸付金の回収による収入	3,515	5,387
差入保証金の差入による支出	△642	△1,408
差入保証金の回収による収入	8,468	18,986
長期前払費用の取得による支出	△233	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△39,934	—
その他	733	808
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,325	16,450

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△30,000	—
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△297,776	△234,516
配当金の支払額	△14,306	△268
その他の支出	△490	△366
財務活動によるキャッシュ・フロー	△242,572	△235,150
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△442,411	△199,416
現金及び現金同等物の期首残高	1,857,628	1,482,087
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,415,216	1,282,670

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	カーケア関連 商品販売	その他	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	3,878,209	114,246	—	3,992,456
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	10	30,142	△30,153	—
計	3,878,220	144,389	△30,153	3,992,456
セグメント損失(△)	△85,244	△277	600	△84,922

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額600千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「カーケア関連商品販売」セグメントにおいて、当社は平成28年4月1日付けで株式会社ミツワ商
会の全株式を取得し子会社化しております。

これによる当第2四半期連結累計期間におけるのれんの発生額は83,240千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	カーケア関連 商品販売	その他	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	3,717,626	163,072	—	3,880,698
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	8	40,633	△40,641	—
計	3,717,634	203,705	△40,641	3,880,698
セグメント利益又は損失 (△)	23,874	△4,734	600	19,739

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額600千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。